

2010年3月25日

下関市立大学FD委員会

2008年度秋学期授業評価アンケート結果報告

1. 秋学期授業評価アンケートへの教員コメントのまとめ

本委員会は、2008年12月16日～24日及び2009年1月8日～1月14日に実施した授業評価アンケートの結果に対して、本学教員（非常勤も含む）から提出されたコメントを、①「授業方法・運営」、②「授業内容・レベル」、③「授業形態」、④「興味を高める」、⑤「シラバス」、⑥「板書」、⑦「話し方」、⑧「設備」、⑨「その他（アンケート実施方法等に関して）」に分類し、それぞれの範疇において問題点と改善方法（及び評価された点）にまとめた。それらを以下に示す。

【授業方法・運営】

<問題点>

- (1) 熱意に関するポイントが若干低かったので講義態度を改め、熱心に学生に働きかけていこうと思う。（中国語）
- (2) 訳や問題の答えを配って欲しいという意見があったが、そうしないでよいように授業中に理解を深めさせる努力をしたい。
- (3) 開始時刻の厳守しなければならないこと。
- (4) 一方的な授業になること。
- (5) ビジュアル機器の評価が低いこと。
- (6) 資料を配りすぎて混乱したこと。
- (7) 話す速度が速い。
- (8) 独りよがりを受け取られたこと。
- (9) 急ぎすぎるとうまくいかない。
- (10) 終了時間をオーバーしてしまうことが多かった。（英語）
- (11) ごく少人数なので、時間に余裕もあり、疑問のほぼ全てに答え、学習者のペースで授業が進められた。その結果、進むスピードは予定よりかなり遅くなった。（英語）
- (12) 「質問はあるか」と適宜聞いていたが、それに反応があったことがない。答え合わせの後も確認しているが、いつも授業の後にやってくる。（英語）
- (13) 「単語や訳のプリントを配ってくれるので助かります」と書いた学生がいたが、私の思いは複雑である。（英語）
- (14) 特に説明が無くても読んでもらえばわかると思われるところを省略しすぎた。（中国語）

- (15) 毎週何らかの宿題や課題があったが、毎回提出する学生と、しないか遅れて提出する学生が半々だった。(英語)
- (16) 開始時刻が時折遅れた。
- (17) 毎回、資料を配付したので、配布に時間がかかり実質的な開始時間が授業開始時刻よりある程度の時間が経過してしまう。
- (18) 就職活動と授業の両立に課題が残されていると思われる。
- (19) 年内卒論完成を目指したがぎりぎりになった。もっと早い時期から取り組みたい。
- (20) 授業に先立ち、事前のプレゼンの練習を試みる必要がある。
- (21) 小テストを多くおこなうべきという意見があった。

<改善方法+評価された点>

- (1) ディスカッション等、意見の発表の場や学生の自主性は今後も大切にしていきたい。
- (2) 宿題とレポートを課した。
- (3) 学生に英文を板書させ、それを添削し指導している。
- (4) 教員からの「与える」量と学生からの「応える」量のバランスによって変える。(日本語)
- (5) わかりやすい説明をするだけでなく、学生から自ら練習問題等をする時間をもう少し増やすようにしていきたい。(朝鮮語)
- (6) 一つ一つの説明が詳しく、丁寧な授業であった。(英語)
- (7) 今後、DVD等ビジュアル教材を採用する予定である。
- (8) 学生の学習意欲を高めるために、授業の質を高め、楽しい工夫をすると共に、担当教員間の協力体制と意見交換を深めていく必要があると思う。
- (9) 学生の反応や理解度に留意して進めていく。(朝鮮語)
- (10) 視聴覚教材等を積極的に活用するよう心がける。
- (11) 学生が興味を持つテキストを選択する。(英語)
- (12) 学生が良く予習して授業に臨んだ。(英語)
- (13) 2年生になると学生の授業への参加意識が高まり、学ぶことの自覚が高くなる。(英語)
- (14) 予習・復習の必要性について十分に説明したい。
- (15) 自発的に運動し、自らの健康をプロモートする欲求を高めるための有効な授業内容を他大学の事例を調査・検討していきたい。
- (16) 基礎的なテキストとプリントをうまく使いながら進めたい。
- (17) 練習問題の繰り返しをしながら、今後も効果的に取り組んでいきたい。
- (18) 練習問題に取り組んでいるときは机間巡視し、学生の様子を見ながら対応したことが効果的であった。
- (19) 座席指定をしている。

- (20) 静肅性の確保について授業中に注意をしているが入学時から授業中には私語をしないよう指導して欲しい。本務校ではTAを活用し静肅性の確保を図っている。
- (21) プリントやプロジェクターの使用を試みたい。
- (22) 予習・復習は卒論作成が中心であるので、指導どおりにやったかどうかを常に注意したい。
- (23) 図を用いた説明は分かりやすい。
- (24) 図説や実際に使用されている書類を使ったのでわかりやすい。
- (25) 何を調べてくればよいかの事例を毎週提示することによって予習の仕方を修得させたい。
- (26) 基礎事項を理解させるために、宿題を課すようにしたい。
- (27) 丁寧に教える。
- (28) 体系的に教える。
- (29) わかりやすくかみ砕いた説明をする。
- (30) 講義のテンポが良い。
- (31) ビデオ等映像提示は評判が良い。
- (32) 学生の反応を見ながら、レジュメの配布を見直す。
- (33) 小テストの実施は好評であった。
- (34) 進行速度の適正化を試みたい。
- (35) メリハリのきいた講義である。
- (36) 担当者の用意する課題を授業で受け取るだけでなく、練習問題は図書館に十分用意しているので、自分から問題に取り組む積極的な態度を育てたい。(英語)
- (37) サブゼミより充実させるように促し、本ゼミでの議論の活性化につなげたい。
- (38) 受講生が質問してきたら、すぐにそれに対応するようにしている。
- (39) 小テストをおこなったことが高く評価された。
- (40) プリント配布を適正に考慮している。
- (41) 声の大きさが適正に配慮されている。
- (42) 分かりやすいプリントである。

【授業内容・レベル】

<問題点>

- (1) 予習不足が見られ、学生の熱意が希薄。
- (2) 内容の絞込みが不十分。
- (3) 授業内容が難しかった。
- (4) 予習・復習を十分にやっていない学生は、最終的にいい結果を得られないということをしっかり伝える必要有り。(英語)
- (5) 文章の長さだけでなく、難易度・内容にも気をつけて選択したい。(英語)

- (6) 学生が興味を増すテキストの選定。
- (7) もっと基本的な文法を身に付けさせなければならない。
- (8) 担当教員や授業に対する満足度は高かったが、授業科目に対する理解度などはそれほど高くなかった。授業内容そのものが多少難しいと考えられるので理解しやすい工夫が必要と考えられる。
- (9) 既習者クラスであるが、最初の授業に来た 4 人のレベルにばらつきがあり、どのレベルに合わせるか迷った。
- (10) もう少し易しい教科書を使うべきだった。
- (11) ビデオは概ね好評だったが、その分説明の時間が少なくなるのが悩み所ではある。
- (12) 日本語実習クラス全体の中で漢字についての比重が小さい。

＜改善点+評価された点＞

- (1) 学生のレベルが様々なので、どこにレベルをあわせて進めるべきかが今後の課題である。
- (2) 具体的・身近な事例を挙げる。
- (3) 学生の知識レベルに配慮して説明・議論
- (4) テーマごとにキーワードを示す。
- (5) テキストより平易なものにする。
- (6) 学生の英語能力向上に向けて更なる工夫をしたい。
- (7) 小テストが好評で説明がわかりやすいという評価を受けたので今後も大切にしていきたい。
- (8) 教養演習の性格から考え、あまりにも「整理」された内容を、あたかもそれこそが「正しい」答えである、という教え方は、アンケート結果にかかわらずこれからもしたくない。
- (9) もう少し話題を絞る方がよいかもしれない。
- (10) 「内容が難しかった」との指摘を受けた。それほどレベルを下げる訳にはいかないが、授業中に学生が自由に意見を言える雰囲気作りに努めたい。
- (11) 予復習を十分に行った学生が多くテキストも学生にマッチしていた。(英語)

【授業形態】

＜問題点＞

- (1) 学生がゼミ指導教員に遠慮して回答を控えていると思われる。ゼミでの発言が増えるような工夫を考えたい。(ゼミ)
- (2) レポートと試験を課しており、レポート重視ということが出席率を悪くしていると考えられる。出席率を上げる工夫をしたい。また、履修者も減少しており、レポートと試験の両方を課していることが原因か？

- (3) 出席割合が若干少ない。全学的課題でもあるので、全学的な討議が重要である（出席カード活用の是非など）。
- (4) 少人数でも、理解度が低い学生がいるのは残念なことだ。
- (5) 3年生の出席率が悪く、遅刻も多いと感じた。他教科ではこのような状況にどのような措置を講じているかを知りたい。
- (6) 授業規模を縮小する必要がある。大教室、大人数の講義形式では、個々の受講者の要求、全て満足させることが困難である。
- (7) やる気があり、教室の前の方の座席に座っている学生を対象にした授業をすることが多いので、もう少し工夫したい。（英語）
- (8) パワーポイント並びに資料の字が小さかったことを指摘するコメントが多かった。
- (9) 中級クラスのため長文に慣れてもらうことを目的としたが、受講生が負担を感じているように思えた。（語学）

<改善方法+評価された点>

- (1) 講義では理論の解説が多い。時事問題にもう少し言及し、講義に対する学生の関心を高める必要がある。
- (2) 演習では個別指導をさらにきめ細かくするとともに教員からメニューを積極的に提示することも必要。
- (3) 発表させながらコメントしあい遂行していった点が良かった。インターネットを通してのやり取りで添削。コメントを書き込みそれに答える方法は時間を要したが学生の主張を把握することができ良かった。
- (4) 学生の遅刻を許さない。学生自身の意識改革も必要である。
- (5) 無断欠席に対する対応を厳しくしていくつもりである。
- (6) 自分で考え理解する必要があるため助けが必要な場合は意思表示するように伝える。
- (7) 教員がコメントするのではなく学生相互間のやりとりをもっと尊重できるような雰囲気をつくっていききたい。
- (8) 受講生と一緒に作業・勉強する時間・機会を増やす。
- (9) 講義の終わりに、可能な範囲で、授業後にふり返って欲しい点を示すことや、次回の講義の予告などを引き続き行う。
- (10) 個々の学生のレベルや意欲に合わせて課題を与えるなど工夫する。
- (11) ゼミの課題設定は学生の自主性に任せているが、研究内容を紹介するなど、具体的な課題がイメージできるような工夫がしたい。
- (12) 就職活動で失われた時間を取り戻すために、工夫が必要である（夏休みの合宿、日曜日の臨時ゼミ開講など）。
- (13) 出席割合を高めるために、授業内容を受講生の関心に合わせるように、初回の授業でアンケートをとるなどしたい。
- (14) クラス人数が適正であったので余裕をもって授業を進めることができた。

- (15) できるだけ多くの学生がドイツ語の基礎を理解できるよう、授業内容の一層の改善に努めたい。
- (16) 予習を十分に行う指導が必要。
- (17) 授業のスピード（学生が十分にノートをとれるように）に意識した。
- (18) ビジュアル機器を使った説明は分かりやすいとの意見が多かった。
- (19) 外部講師の招聘、共同研究の立ち上げなどを検討したい。他のゼミとの合同による研究合宿を企画してもよいかもしれない。

【興味を高める】

＜問題点＞

- (1) 質問に対する回答者が少ない。
- (2) 興味を持たせられなかった。
- (3) テキストの内容だけでなく、これ以外の内容も必要があれば学生に教える。
- (4) 学生が勉強の熱意を持って、この授業に取り組むことを工夫する。
- (5) 第1回のシラバスの説明で、全体の講義内容の説明を行っているが、すでにこの段階から授業への興味、関心を引き出せていない可能性がある。
- (6) 前期と比べると明らかに受講者のやる気が見られなくなった。
- (7) 予習・復習や熱意の点数が低い。どのようにすれば興味を引き出せるかを工夫する必要がある。
- (8) 自分が面白いと思う論点と学生が理解したいと思っている論点が必ずしも一致しない。
- (9) 出席率を上げるために工夫が必要。

＜改善方法+評価された点＞

- (1) 経済記事のような英文を取り扱うときは身近な例をもっと導入し、学生の好奇心をくすぐりたいと思う。
- (2) 韓国の歌・テレビ番組などを紹介した。
- (3) テキストがイギリス文化の散策なので内容的に楽しかった。
- (4) 経験談を盛り込む。
- (5) ゼミでは各学生にきちんと向き合う。
- (6) 親しみやすさ、自己紹介を徹底する。
- (7) ゼミではメンバー相互のコミュニケーションがとれていると良い。
- (8) 泊まりがけのGP参加も良い。
- (9) ゼミでは自由に楽しく話し合える雰囲気作りに気をつける。
- (10) 統計データを多用していて、授業の理解が深まった。
- (11) フィールドワークは大変良かった。
- (12) 今後もテーマ、語学プログラムとしての内容をさらに充実させ、学生の関心や能力を高めたい。

- (13) テキストは変更しないという基本方針を堅持しつつ、よりわかりやすい説明を心がけたい。むしろ興味や関心を引き起こす方向を目指したい。
- (14) これからも英語だけでなく学生の知的好奇心を刺激するような授業を心がけたい。
- (15) 経済記事の教材を扱ったことが経済学部学生としての自覚を喚起することが出来たのではないかと思う。
- (16) 漢詩や自己紹介を暗記させ、発表させたりした。また簡単な日常会話の復習を毎回授業の最初に行った。
- (17) 体験談や当時の状況に関するデータや資料を提示したことにより興味や関心が促進され、理解が進んだ。
- (18) ドキュメンタリービデオを授業内で視聴し、レポート提出をさせたことで理解が深まった。
- (19) 授業に関する質問は教室で受け付けるだけでなく、メールでのやり取りでも行ってきた。メールでの回答はできるだけ丁寧に心がけている。
- (20) 技術面だけではなく、それがどのような役立ちを持っているかについて説明加えるような工夫をしていきたい。
- (21) トピックス的な書籍を紹介し、学生が関心を持ってくれた。
- (22) 「予習・復習が十分でない」と学生自身が評価しているので、宿題（レポート）という形のある課題を課すことを検討したい。
- (23) この現代G P科目の教養演習を受講した学生の中から10名が来年度も共同自主研究にエントリーし、引き続き現代G Pの観光・交流の研究を進めることになった。
- (24) ビデオの利用や統計データに関する資料配布は好評だった。
- (25) 学園祭の展示をやってよかったというコメントをいただいた。
- (26) 実例のビジュアル教材を増やすようにしたい。
- (27) できるだけ多くの論者の考えを紹介することで考え方が広がった。
- (28) サブゼミでの学外活動は好評だった。
- (29) 裁判所見学を行った。
- (30) 早めに卒論を取り組ませることでの改善を図りたい。
- (31) CDで英語をこまめに流した。学生も予習時にテキストのCDを聴いたことが意欲を高めた。
- (32) スピーチコンテストへの参加を促し、モチベーションがかなり上がった。

【シラバス】

<問題点>

- (1) シラバスを読まずに受講している学生が多いようである。
- (2) 授業の際、口頭で紹介する必要あり。
- (3) 最初の授業でプリントを配布するなどの工夫が必要。

- (4) 説明不十分
- (5) シラバスについて低い数値は、その科目が必修であり、なおかつ、初回授業でオリエンテーションを行うことによると思われる。シラバス記載事項を今後検討すべきであろう。

＜改善方法+評価された点＞

- (1) 最初の授業で授業の狙い、評価対象、具体的な授業評価スケジュール等を書いたプリントを学生に配り、口頭で説明する。この方法で、シラバスを読まない学生への対応を行う。
- (2) 最初の授業でシラバスを読む必要性を説いていきたい（中国語）
- (3) シラバスのコピーを配布する。
- (3) シラバスを熟読させ、授業内容や目的について十分に理解してもらう必要性あり（朝鮮語）
- (5) シラバスをよく読んだという学生が多く、学生が授業に対して高い関心を示していることがわかった。
- (6) シラバスに卒論作成に向けたタイムスケジュールを表示し、常に学生に示したい。

【板 書】

＜問題点＞

- (1) 見づらい。
- (2) 字が小さい。
- (3) 早く書かれてついていけない。
- (4) 難しい（大文字→量少／濃い→消しにくい）。
- (5) 2枚板で重なった部分が見えにくい。
- (6) 大教室では最前列で見えにくい（板書が見えにくい教室あり）。

＜改善方法+評価された点＞

- (1) 要配慮、要工夫。
- (2) 読みやすさを心がける。
- (3) 理解し易いように工夫する。
- (4) 大きく丁寧に書くよう改善する。
- (5) 板書の量を増やす。
- (6) 板書の内容を絞る。
- (7) 書き取った後のノートが明確になるような板書を心がける。
- (8) 板書を学生が書き取る時間をとった後に説明する。
- (9) 話しながら板書しない。

【話し方】

＜問題点＞

- (1) 平板な話し方。
- (2) マイクの使い方（音量調整不備／マイクの位置）。
- (3) ピンマイクによる不備。

＜改善方法+評価された点＞

- (1) 小教室ではマイクを使わず、前の方に座らせる。
- (2) ピンマイク不調の場合はハンドマイクに切り替える。

【設 備】

＜問題点＞

- (1) 授業環境の評価が低い。
- (2) マイクの使い方の不満。
- (3) 空調の不備（暑すぎ／効き過ぎ／切り過ぎ／調整不能）。
- (4) 教室の大きさ不適正（広すぎる or 大きすぎる or 狭い）。
- (5) 設備や機器類不備（印刷機等）。

＜改善方法+評価された点＞

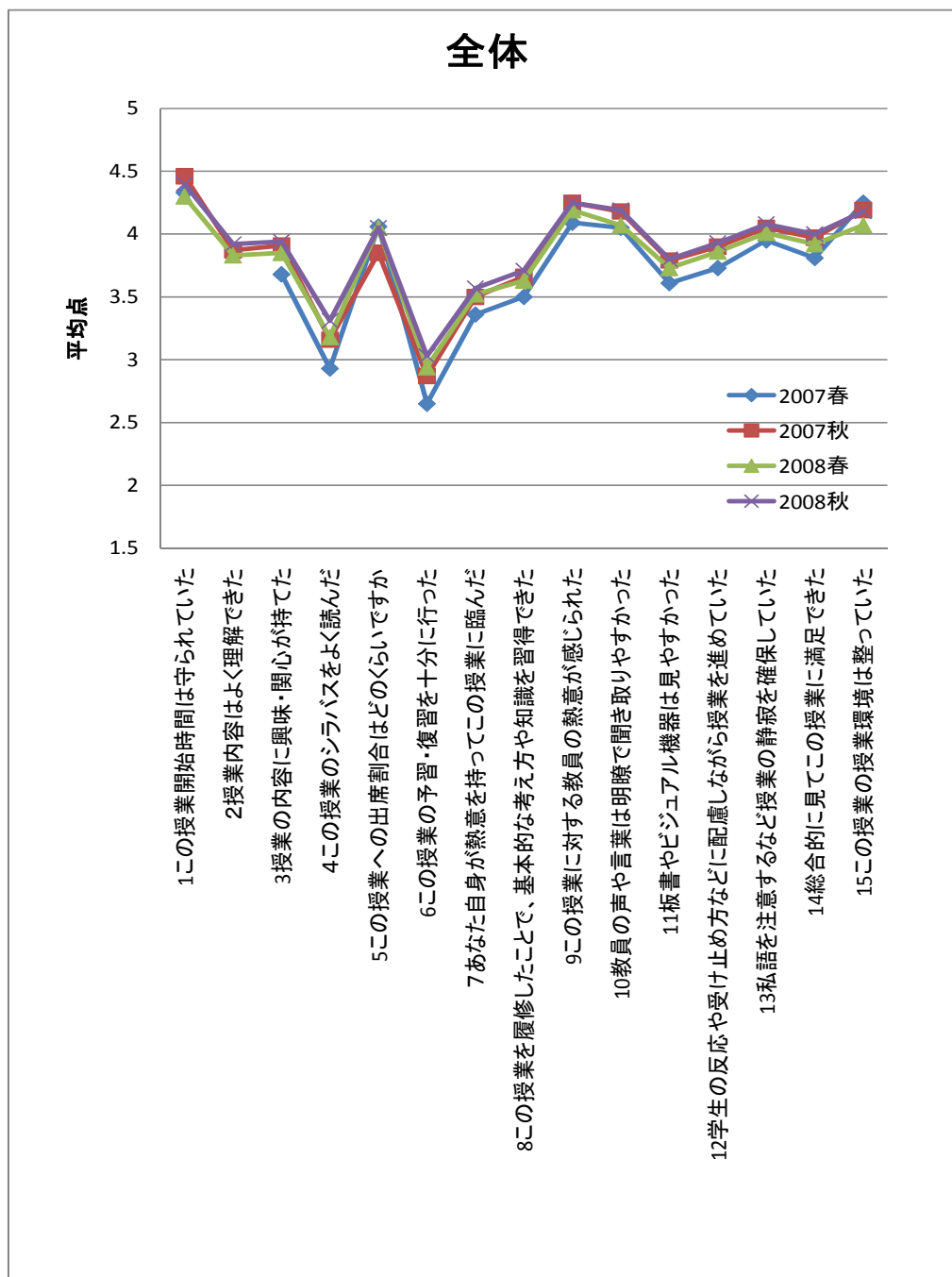
- (1) 設備や機器類の充実を向上させたい。
- (2) エアコンの調整が各教室でできるようにしてほしい。
- (3) プロジェクターなど機器類が使えるよう整えるのに時間がかかる→自動化を向上させて欲しい。
- (4) パワーポイント画像が見えにくい→機器類の更新を検討して欲しい。

【その他（アンケートの実施方法等に関して）】

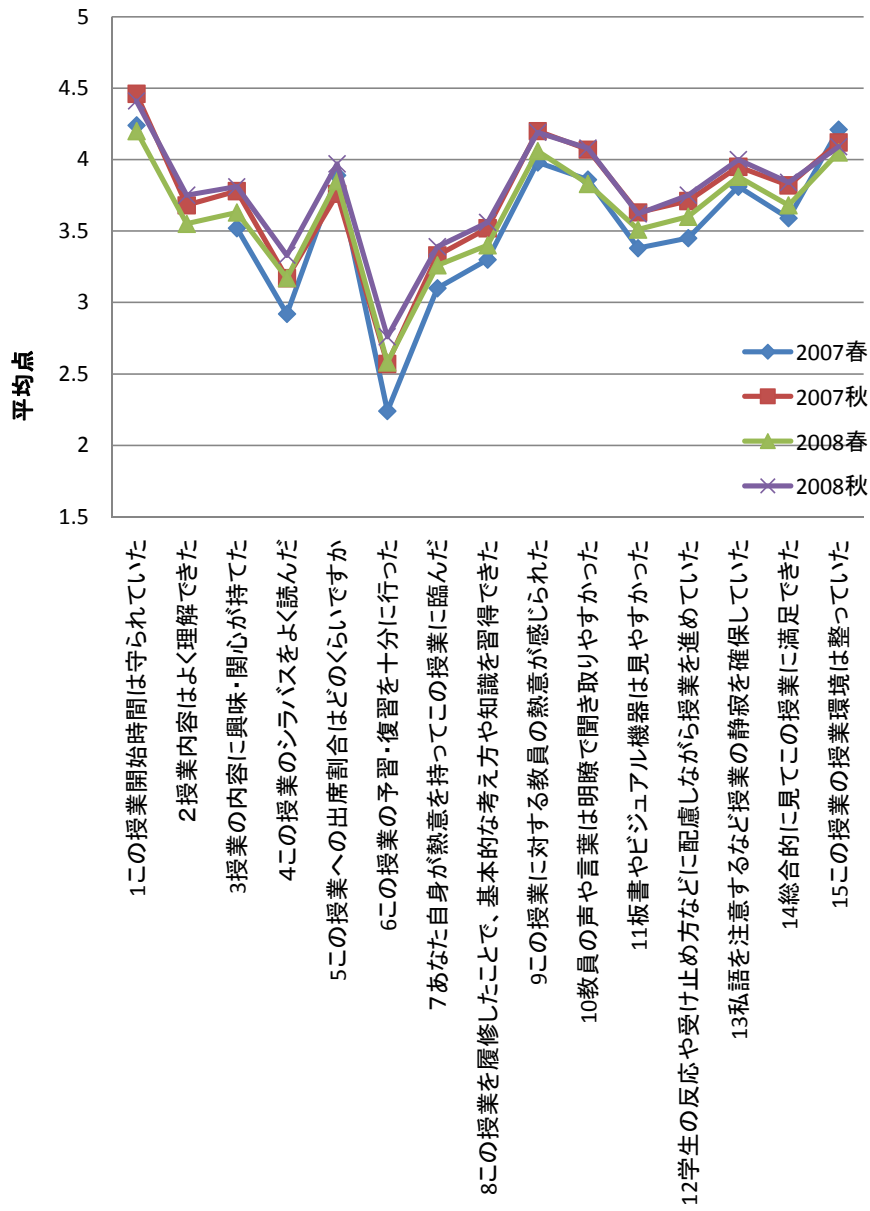
- (1) アンケート項目について、自由記述については、科目の後に曜日と時限を入れて欲しい。
- (2) 学生からの授業アンケートに対するコメントに関して、アンケートが繰り返し行われており、新鮮味がないので適当に答えたり、内容を考えずに急いで回答しているものが散見される。したがって、アンケートの内容や実施方法について見直す時期に来ていると思われる。
- (3) 専門演習のアンケートは10月頃に1回行うのが最適だろう。
- (4) アンケート実施日の出席者数に比べ、回答者数が非常に少ない。実施方法の再検討をしてほしい。

2. 数値評価の時系列データ

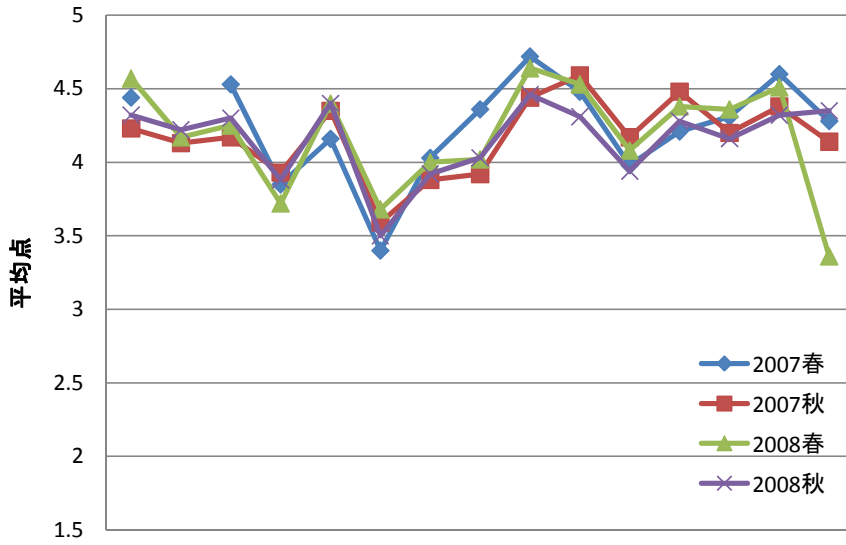
全体・座学（講義科目）・語学・教養演習・専門演習の5つの科目群について、2007年（春・秋学期の2回）と2008年（春・秋学期の2回）の4時点における5段階評価の結果を比較するグラフを以下に示す。



座学科目

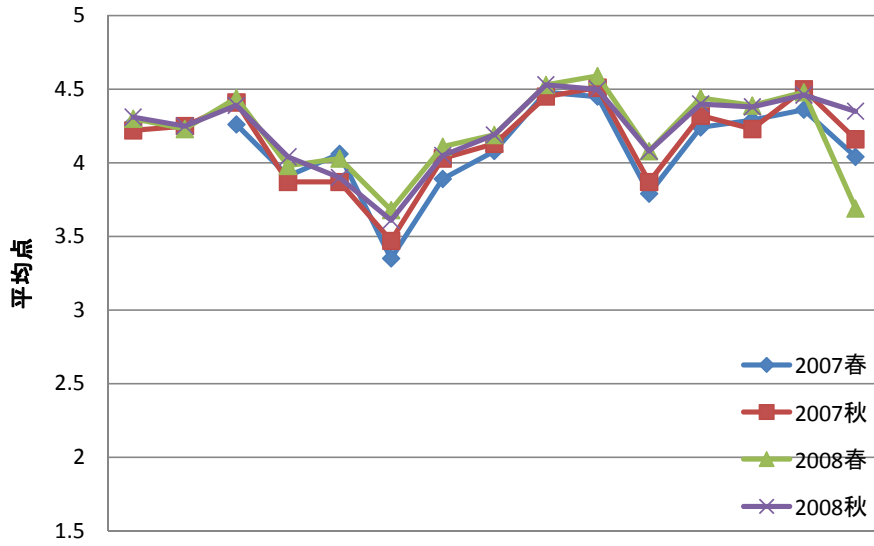


教養演習



- 1この授業開始時間は守られていた
- 2授業内容はよく理解できた
- 3授業の内容に興味・関心が持てた
- 4この授業のシラバスをよく読んだ
- 5この授業への出席割合はどのくらいですか
- 6この授業の予習・復習を十分に行った
- 7あなた自身が熱意を持ってこの授業に臨んだ
- 8この授業を履修したことで、基本的な考え方や知識を習得できた
- 9この授業に対する教員の熱意が感じられた
- 10教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかった
- 11板書やビジュアル機器は見やすかった
- 12学生の反応や受け止め方などに配慮しながら授業を進めていた
- 13私語を注意するなど授業の静寂を確保していた
- 14総合的に見てこの授業に満足できた
- 15この授業の授業環境は整っていた

専門演習



- 1この授業開始時間は守られていた
- 2授業内容はよく理解できた
- 3授業の内容に興味・関心が持てた
- 4この授業のシラバスをよく読んだ
- 5この授業への出席割合はどのくらいですか
- 6この授業の予習・復習を十分に行った
- 7あなた自身が熱意を持ってこの授業に臨んだ
- 8この授業を履修したことで、基本的な考え方や知識を習得できた
- 9この授業に対する教員の熱意が感じられた
- 10教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかった
- 11板書やビジュアル機器は見やすかった
- 12学生の反応や受け止め方などに配慮しながら授業を進めていた
- 13私語を注意するなど授業の静寂を確保していた
- 14総合的に見てこの授業に満足できた
- 15この授業の授業環境は整っていた